

村の世帯・人口

1968年9月1日現在

総世帯数 1,919戸

男 4,999人

女 4,989人

計 9,988人



当月の人口移動

出生 33 死亡 5

転入 36 転出 31

婚姻 9 離婚 0



広報にほら

行 所	西 原	役 所
電 話	(095) 2401	
印 刷 所	中 部	印 刷 K K
電 話	(077) 4464	

主なもくじ

二、行政の殿堂新庁舎が完成

- 1 一階配置図案内
- 2 二階配置図案内
- 3 屋上配置図案内

三、結核の発病と予防するには

- 1 結核という病気
- 2 結核の感染はどのようにして起るか
- 3 結核を予防するためには

四、11月10日は私たちの代表を選ぶ日

- 1 世論をたしかめよう

- 2 投票は自由で清き一票を

五、国民年金制度ができます

- 1 国民年金の制度とは
- 2 国民年金に加入する人
- 3 かけ金を納めなければなりません
- 4 かけ金の半額は政府が負担する
- 5 各年金はこのようなときにもらえます

六、農協だより

七、村の話題

- 1 戦後はじめての最高人口
- 2 九〇才以上に主席から見舞金
- 3 区長、婦人会が浄水場見学
- 4 旧役所跡に西原幼稚園移転

10 10 10 10 10 10

制が一番大事でありますので、今後
たえず村の批判や村広報を通じて民

総世帯・人口		豆		総世帯・人口		林の世帯・人口		面積		出生	
1968年1月1日現在	50万戸	1,021人	46万戸	1,035人	10.488人	889.4人	889.4人	5101ha	5101ha	53.8人	1日に
1967年1月1日現在	49万戸	1,012人	45万戸	1,024人	10.487人	888.4人	888.4人	5099ha	5099ha	53.7人	1年に
1966年1月1日現在	48万戸	1,003人	44万戸	1,013人	10.486人	887.4人	887.4人	5098ha	5098ha	53.6人	1年に
1965年1月1日現在	47万戸	994人	43万戸	1,002人	10.485人	886.4人	886.4人	5097ha	5097ha	53.5人	1年に
1964年1月1日現在	46万戸	985人	42万戸	991人	10.484人	885.4人	885.4人	5096ha	5096ha	53.4人	1年に
1963年1月1日現在	45万戸	976人	41万戸	989人	10.483人	884.4人	884.4人	5095ha	5095ha	53.3人	1年に
1962年1月1日現在	44万戸	967人	40万戸	981人	10.482人	883.4人	883.4人	5094ha	5094ha	53.2人	1年に
1961年1月1日現在	43万戸	958人	39万戸	973人	10.481人	882.4人	882.4人	5093ha	5093ha	53.1人	1年に
1960年1月1日現在	42万戸	949人	38万戸	965人	10.480人	881.4人	881.4人	5092ha	5092ha	53.0人	1年に
1959年1月1日現在	41万戸	940人	37万戸	957人	10.479人	880.4人	880.4人	5091ha	5091ha	52.9人	1年に
1958年1月1日現在	40万戸	931人	36万戸	949人	10.478人	879.4人	879.4人	5090ha	5090ha	52.8人	1年に
1957年1月1日現在	39万戸	922人	35万戸	941人	10.477人	878.4人	878.4人	5089ha	5089ha	52.7人	1年に
1956年1月1日現在	38万戸	913人	34万戸	933人	10.476人	877.4人	877.4人	5088ha	5088ha	52.6人	1年に
1955年1月1日現在	37万戸	904人	33万戸	925人	10.475人	876.4人	876.4人	5087ha	5087ha	52.5人	1年に
1954年1月1日現在	36万戸	895人	32万戸	917人	10.474人	875.4人	875.4人	5086ha	5086ha	52.4人	1年に
1953年1月1日現在	35万戸	886人	31万戸	909人	10.473人	874.4人	874.4人	5085ha	5085ha	52.3人	1年に
1952年1月1日現在	34万戸	877人	30万戸	901人	10.472人	873.4人	873.4人	5084ha	5084ha	52.2人	1年に
1951年1月1日現在	33万戸	868人	29万戸	893人	10.471人	872.4人	872.4人	5083ha	5083ha	52.1人	1年に
1950年1月1日現在	32万戸	859人	28万戸	885人	10.470人	871.4人	871.4人	5082ha	5082ha	52.0人	1年に
1949年1月1日現在	31万戸	850人	27万戸	877人	10.469人	870.4人	870.4人	5081ha	5081ha	51.9人	1年に
1948年1月1日現在	30万戸	841人	26万戸	869人	10.468人	869.4人	869.4人	5080ha	5080ha	51.8人	1年に
1947年1月1日現在	29万戸	832人	25万戸	861人	10.467人	868.4人	868.4人	5079ha	5079ha	51.7人	1年に
1946年1月1日現在	28万戸	823人	24万戸	853人	10.466人	867.4人	867.4人	5078ha	5078ha	51.6人	1年に
1945年1月1日現在	27万戸	814人	23万戸	845人	10.465人	866.4人	866.4人	5077ha	5077ha	51.5人	1年に
1944年1月1日現在	26万戸	805人	22万戸	837人	10.464人	865.4人	865.4人	5076ha	5076ha	51.4人	1年に
1943年1月1日現在	25万戸	796人	21万戸	829人	10.463人	864.4人	864.4人	5075ha	5075ha	51.3人	1年に
1942年1月1日現在	24万戸	787人	20万戸	821人	10.462人	863.4人	863.4人	5074ha	5074ha	51.2人	1年に
1941年1月1日現在	23万戸	778人	19万戸	813人	10.461人	862.4人	862.4人	5073ha	5073ha	51.1人	1年に
1940年1月1日現在	22万戸	769人	18万戸	805人	10.460人	861.4人	861.4人	5072ha	5072ha	51.0人	1年に
1939年1月1日現在	21万戸	760人	17万戸	797人	10.459人	860.4人	860.4人	5071ha	5071ha	50.9人	1年に
1938年1月1日現在	20万戸	751人	16万戸	789人	10.458人	859.4人	859.4人	5070ha	5070ha	50.8人	1年に
1937年1月1日現在	19万戸	742人	15万戸	781人	10.457人	858.4人	858.4人	5069ha	5069ha	50.7人	1年に
1936年1月1日現在	18万戸	733人	14万戸	773人	10.456人	857.4人	857.4人	5068ha	5068ha	50.6人	1年に
1935年1月1日現在	17万戸	724人	13万戸	765人	10.455人	856.4人	856.4人	5067ha	5067ha	50.5人	1年に
1934年1月1日現在	16万戸	715人	12万戸	757人	10.454人	855.4人	855.4人	5066ha	5066ha	50.4人	1年に
1933年1月1日現在	15万戸	706人	11万戸	749人	10.453人	854.4人	854.4人	5065ha	5065ha	50.3人	1年に
1932年1月1日現在	14万戸	697人	10万戸	741人	10.452人	853.4人	853.4人	5064ha	5064ha	50.2人	1年に
1931年1月1日現在	13万戸	688人	9万戸	733人	10.451人	852.4人	852.4人	5063ha	5063ha	50.1人	1年に
1930年1月1日現在	12万戸	679人	8万戸	725人	10.450人	851.4人	851.4人	5062ha	5062ha	50.0人	1年に
1929年1月1日現在	11万戸	670人	7万戸	717人	10.449人	850.4人	850.4人	5061ha	5061ha	49.9人	1年に
1928年1月1日現在	10万戸	661人	6万戸	709人	10.448人	849.4人	849.4人	5060ha	5060ha	49.8人	1年に
1927年1月1日現在	9万戸	652人	5万戸	691人	10.447人	848.4人	848.4人	5059ha	5059ha	49.7人	1年に
1926年1月1日現在	8万戸	643人	4万戸	673人	10.446人	847.4人	847.4人	5058ha	5058ha	49.6人	1年に
1925年1月1日現在	7万戸	634人	3万戸	655人	10.445人	846.4人	846.4人	5057ha	5057ha	49.5人	1年に
1924年1月1日現在	6万戸	625人	2万戸	637人	10.444人	845.4人	845.4人	5056ha	5056ha	49.4人	1年に
1923年1月1日現在	5万戸	616人	1万戸	619人	10.443人	844.4人	844.4人	5055ha	5055ha	49.3人	1年に
1922年1月1日現在	4万戸	607人	0戸	601人	10.442人	843.4人	843.4人	5054ha	5054ha	49.2人	1年に
1921年1月1日現在	3万戸	598人	0戸	591人	10.441人	842.4人	842.4人	5053ha	5053ha	49.1人	1年に
1920年1月1日現在	2万戸	589人	0戸	581人	10.440人	841.4人	841.4人	5052ha	5052ha	49.0人	1年に
1919年1月1日現在	1万戸	580人	0戸	571人	10.439人	840.4人	840.4人	5051ha	5051ha	48.9人	1年に
1918年1月1日現在	0戸	571人	0戸	561人	10.438人	839.4人	839.4人	5050ha	5050ha	48.8人	1年に

主な地名

村長就任あいさつ

西原村長 宮平吉太郎



私たち西原村は戦後二十三年目にはじめての村長選挙が行なわれ、このたびは諸先輩と知友人のあたなかい推薦と激励をうけて村長に立候補し、去る十月六日の村長選挙に有権者各位の多大な御同情により当選させていただき、まことにありがとうございます。

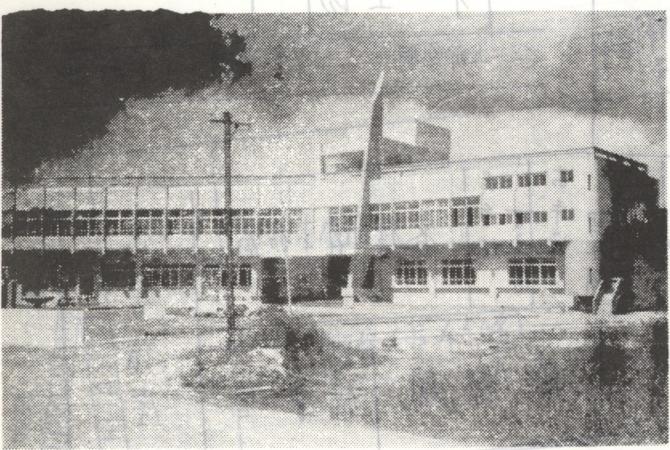
さて、現代の民主政治は村民が主人公であることを忘れてはならないと思います。その理由をいたしましては、こんどの選挙で示したように多数の村民の意志の現われだとみとめるものであります。私は過去六六年にわたる村行政におけるこれまでの体験と経験を生かし、たえず村民の世論に耳を傾け、また現在面している諸問題の解決に、たえずその意見を尊重し、村民の福祉向上をめざして公僕として誠意のある限りつくす覚悟であります。本村は土地条件から見て、繁栄の要素を多くもつておますが、放つておいては村の繁栄はできるものではありません。私は戦後はじめて選挙で選ばれた村長として、誇りをもつと同時に勇氣と信念をもって村民のみなさまと公約した、よい村政、よい行政を行なうため、百のカラロ約よりも実現可能な政策をかけ村民の期待と信赖にこだえるため最善の努力をする所存であります。そこで基本態度で真先に望むことは、祖国復帰の実現を目指して市町村自治の本旨に基づき、自主性にとむ清潔で明るい村政を実現することであります。

つぎに農村振興のため総合計画を策定実施し村民所得の向上を計ると同時に村内各機関との連携を密にし

各種団体の育成強化をはかり、円滑なる村政の運営を期すことであります。このため村民みなさまの協力体

制が一番大事でありますので、今後たえず村の批判や村広報を通じて民意による、民主主義たる村民の意見を尊重し、つねに村民とともに、明るい、豊かな、平和な村づくりに最善の努力と誠意をもってつくしたいと思います。簡単ではありますが村長就任のあいさつといたします。

自治の殿堂新庁舎が完成



西原村役所

二階が六六〇、〇六平方米で、ステージ、ホール（四五〇名収容）、ホテル控室、議場、議長室、小委員会室、議会事務局、教育委員会事務局、など中三階は一九、九六平方米で傍聴席など、屋上には水タンクが設置され、屋上からの展望は南西に中部製糖第一、第二工場が見え、職員も一層仕事も便利にやりやすくなつたと西原平野が一日でわかる絶景な場所。今後、新しい庁舎で新しい村長を迎える、職員も一層仕事も便利にやりやすくなつたとこれから十二分なる住民サービスが出来るとがんばつてゐる。（一、二階、屋上配置図を参照）

永い間の村民の要望と村当局の懸案であった新庁舎は西原村字嘉手丸に所在し、中部製糖第一工場北方に政府道路三八号線に面し、庁舎前に駐車場、グラックスな花園、噴水池など設備され去つた九月二十九日に移転終了し、九月三十日から行政業務が開始された。

その経過を簡単に紹介しますと、まず建築設計は仲村朝喜建築事務所の設計で建築部門は那覇市平良建設（平良茂雄代表）が十一万一千ドル、電気水道は那覇市三和電設工業（仲本朝一代表）が一万六千ドルの請負工事で去つた一月二十日の起工式以降大変よい天候に恵まれ八カ月余で完成。建築総面積七八九、二八平方米で地上二階建、先づ一階は六八二、八〇平方米で、村長室、応接

間、事務室内に助役、収入役、財政課、固定資産評価、総務課、建設課、経済課、住民課と順序に配置、タイプ印刷室、資料室、書庫、金庫、小会議室、各種団体事務局、お手洗（男女）公衆衛生看護及び社会福祉主事詰所、当直室、女子休憩室、湯沸場、ロッカー（男女）シャワー（男女）など、ロビー、廊下など広々と客留も長椅子を準備し、各課と三役各室にボタン電話十台を設置し、職員の配置の対向式（向い合わせ）から同向式（学校式）にかえ、村の事務改善など計画し、今後の村民サービスなど大きく期待される。

林業課升もこひし

西風林業 富 平 吉 太

各課の資料を取扱ふ事務室

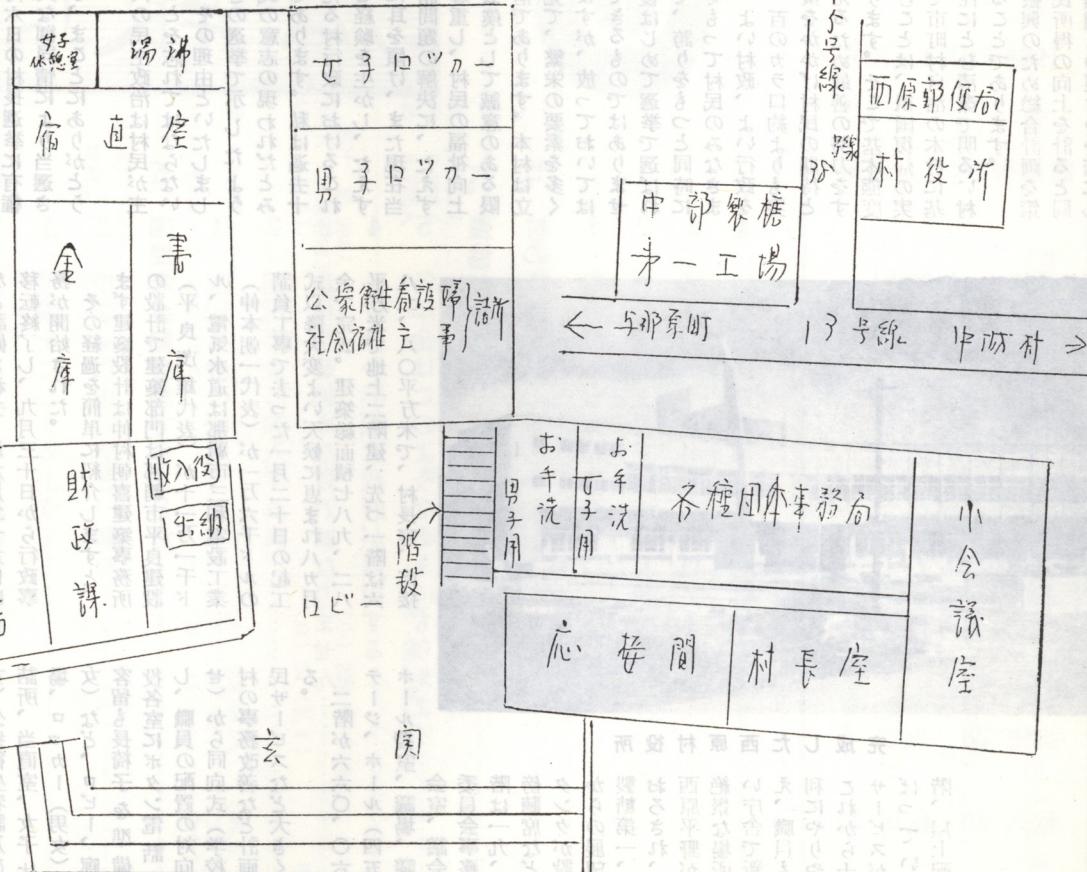
住民課

建設課
経済課

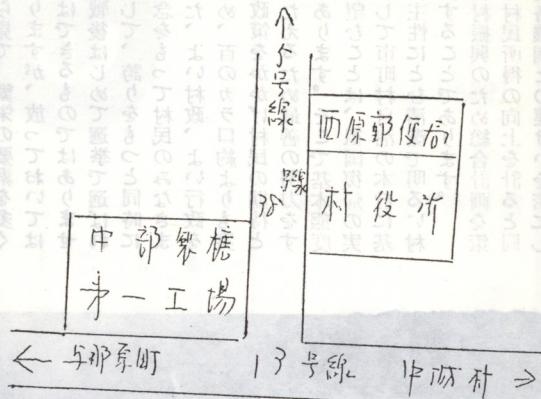
白首

宗義

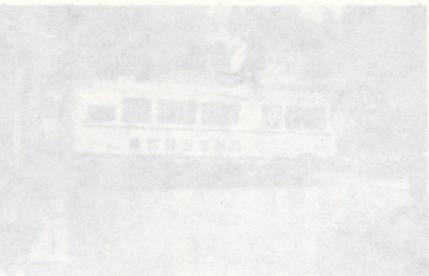
村役所庁舎配置図(一階)



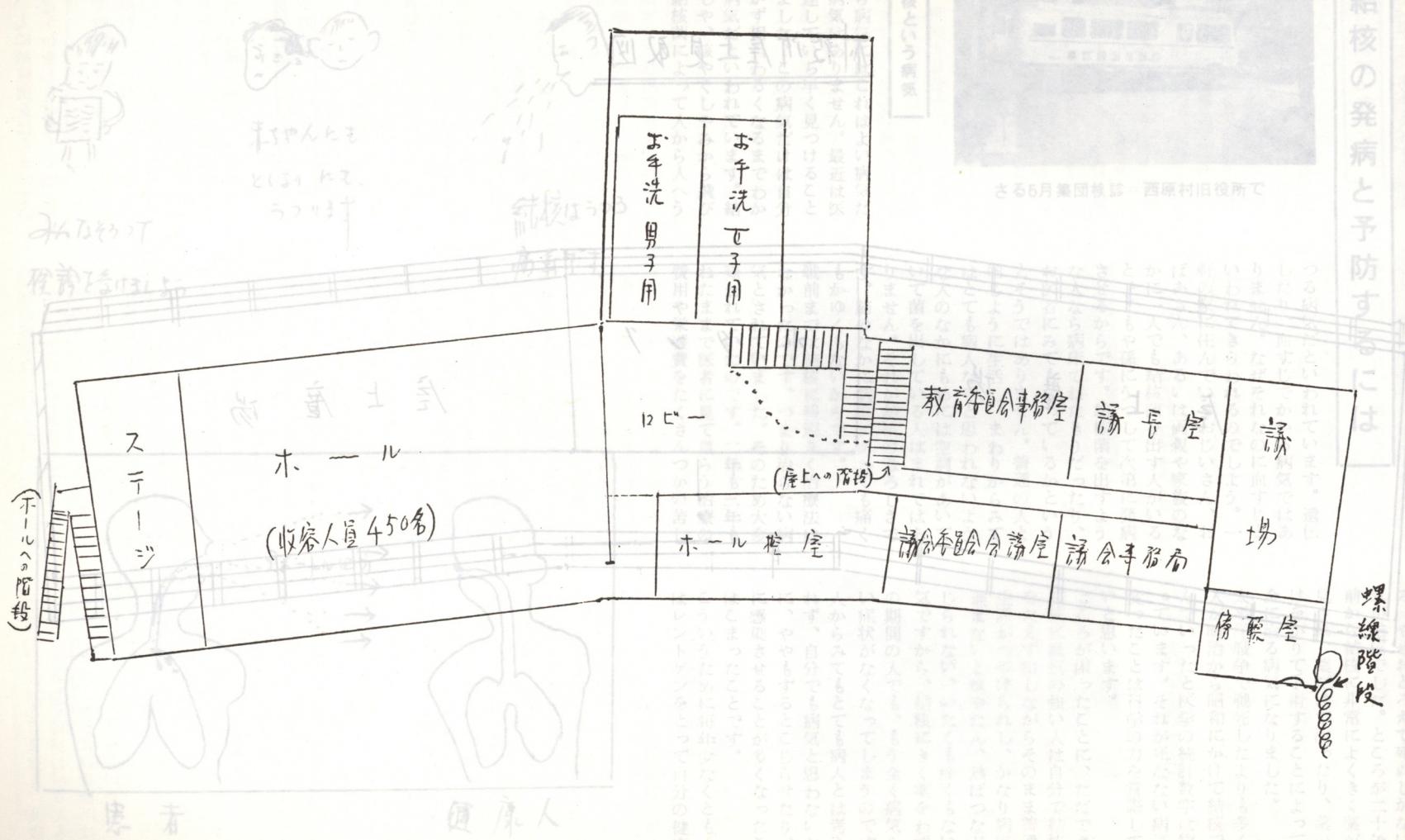
見取図



結核の発病と予防するには



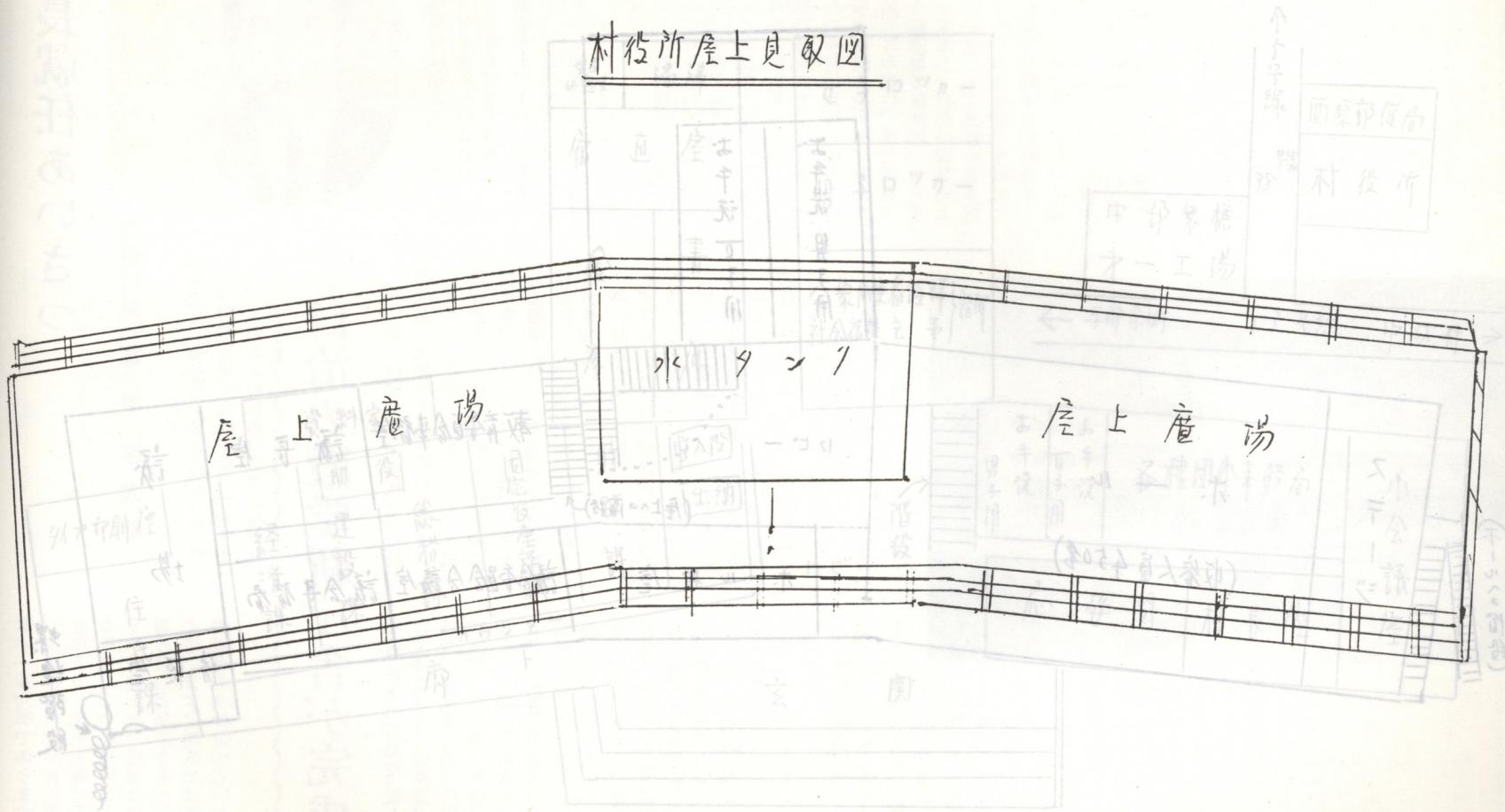
さる5月集団検診・西原村旧役所で



村(節)面見取図

見取図

村役所屋上見取図

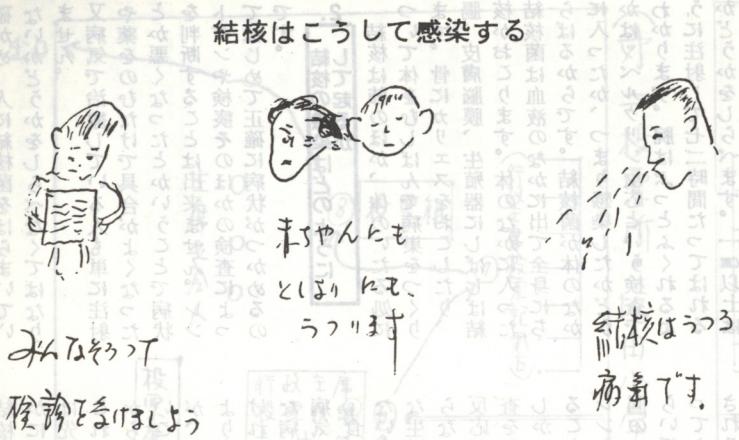


結核の発病と予防するには

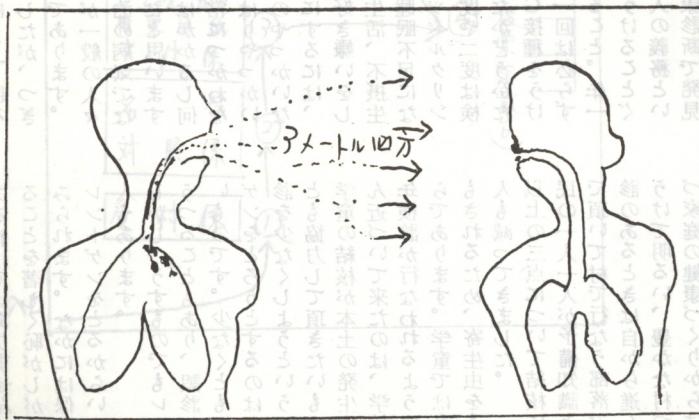


さる5月集団検診車 西原村旧役所で

1. 結核という病気



検診を受けよう



(東洋衛生会議)

昔から病気にはこれはよい病気だといふことがあります。最近は医学が発達していく早く見つけることが出来ました。この病気だけは自分がきづかず相当なるくなるまでわからない病気だといわれています。結核は話いや、咳やくしゃみから飛びちった結核菌によつて人から人へうつさるのです。これが肺の結核菌です。

この病気には空洞があります。肺の中に病気があっても痛くもかゆくもないからです。戦前までは結核に特別きく治療法はなかったのです。つまり治らない病気とされていました。そのため大変嫌われていたのです。二年も三年もねたまま医者を見て貰う治療の費用や栄養費をたくさんつかい苦し

み、やせおとろえて死ぬしかない病気が結核でした。ところが二十年程前から結核に非常によくきく薬が發見され、薬だけで治ったり、薬の助けをかりて手術することによって完全に治る病気になりました。

太平洋戦争で戦死したよりも多くの人が明治から昭和にかけて結核で死んでいましたと医学の統計数字は物語っています。それが死なない病気に変つたことは科学の力を賞讃していると思います。ところが困つたことに、ただでさえお医者にみてもらつてしるかといふとそうではありません。普通の人と同じように生活し、まわりからみてはとても病人なぞと思われないような人のなかにも肺には空洞があいていて菌を出している人はまれではあります。それが結核の恐ろしさです。肺のなかに病気があっても痛くじられない、いたくも痒くもない病気ですから、結核にきく薬をわざかに期間の人でも、もう全く病気らしい病状がなくなつてしまふのです。人からみてもとでも病人とは考えられず、自分でも病気と思わないために、ややもするとこじらせたり、人に感染させることが多くなつたことはこまつたことです。

こういうために毎年少なくとも一回はレントゲンをとつて自分の健康を

確かめ、人に結核菌をばらまいていないかどうかをしらべなくてはなりません。又病気で治療している人も単に注射や薬をのむだけで具合がよくなつたとか悪くなつたとかいうことで病状を判断することは出来ません。レントゲンや検査そのほかの検査によつてはじめて正確に病状がつかめるのです。

2. 結核の感染はどのようにして起るか

結核は肺のほか、体のいたる処にしつて体をむしばんで病巣をつくります。骨にカリエスをおこしたり、腸、皮膚膜、生殖器にしばしば結核がおこります。体のなかに入った結核菌は血液のなかで全身にちらばるからです。結核菌が体のなかに入つたか、つまり感染したかどうかはツベルクリン反応という検査でわかります。腕はぶとふくれるようになつたか、つまり感染したかどうかをしらべます。一cm以上はれた人はすでに体内に結核菌が侵入した証拠です。一家全員で年一回は必ず反応が陰性の人は年一度や二度は検査をうけて陽性になつたかどうかをしかめるほかB・C・G接種をうけます。しかし、そのほかツベルクリン反応が陰性の人は年一度は検査をうけて陽性になつたかどうかをしらべます。このやっかいな病気にからないようにするには、①食生活に気をつけて好き嫌いをしないこと。②不規則な生活、不摂生生活をしないこと。③睡眠不足にならないこと、そのほかツベルクリン反応が陰性の人は年一度は検査をうけて陽性になつたかどうかをしらべます。このやっかいな病気にからないようにするには、

これで結核という病気が一般の人々から嫌われるような不治の病気でないことはわかつて頂けたと思ひます。が、やはり二年、三年はかかるし何よりも政府の予算を非常につかわなければなりません。やはりやっかいな病気のようです。このやっかいな病気にからないようにするには、

①食生活に気をつけて好き嫌いをしないこと。②不規則な生活、不摂生生活をしないこと。③睡眠不足にならないこと、そのほかツベルクリン反応が陰性の人は年一度は検査をうけて陽性になつたかどうかをしらべます。このやっかいな病気にからないようにするには、

これで結核という病気に対しても協力して頂きたいものです。学童の結核が本土の発生率にだんだん近づいて来たのは、学校だけは毎年検診が行なわれるようになつたからであります。学童では寄生虫検査もされるため、寄生虫をもつている人も減つてきました。

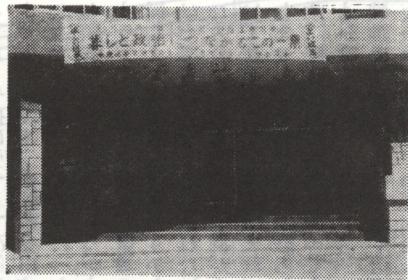
以上の三点について結核に対して村民の一人一人が予備知識として読んでも頂いて村で行なう部落での集団検診のあるときは自ら進んで検診をうけて明るい、豊かな村づくりは先づ家庭の健康づくりからはじめます。

しかし近代社会に生きる人の義務といつてよいでしょう。健康診断で発見されるような人は殆んどが働きながら治せたり、数ヶ月休めば働けたりする方々です。レントゲンを体にうけると害になるという人がいます。

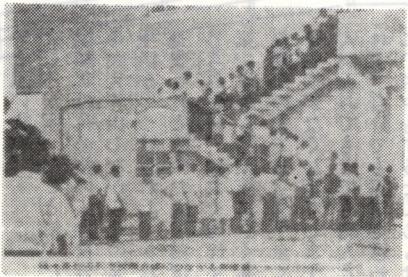
一回や二回のレントゲン撮影で害か

(沖縄療友会資料)

家庭の幸福は 検診から



さる10月21日から新庁舎の玄関に貼られた横断幕



さる10月6日村長選挙で投票所へむかう有権者=村役所ホールで

3. 結核を予防するためには

1. 世論をたしかめよう

十一月十日は私たちの代表を選ぶ日

私たち、毎日の新聞やラジオ、テレビまたは雑誌などで、政治上の問題で世論調査をした結果を見かけたことがあります。いつの世論調査でも考へられるのは「わからない」という人の数が非常に多いということです。

ある。政治上むずかしい問題に対しでは「わからない」こともあります。ちがいがない。しかしもうすこし政治に関心をもち、社会生活のことを考えていれば、世論調査の質問などはそれほどむずかしいものではないから自分なりの判断力がつくはずである。住民は選挙によって代表を選んで、

政治を行なわせているのであるからいつも国や地方の政治や、政党の政策など関心をよせ、ほんとに、自分たちの意見を代表する人を選んで、わたしたちの考えが正しく政治に反映するよう心がけなければならないと思う。

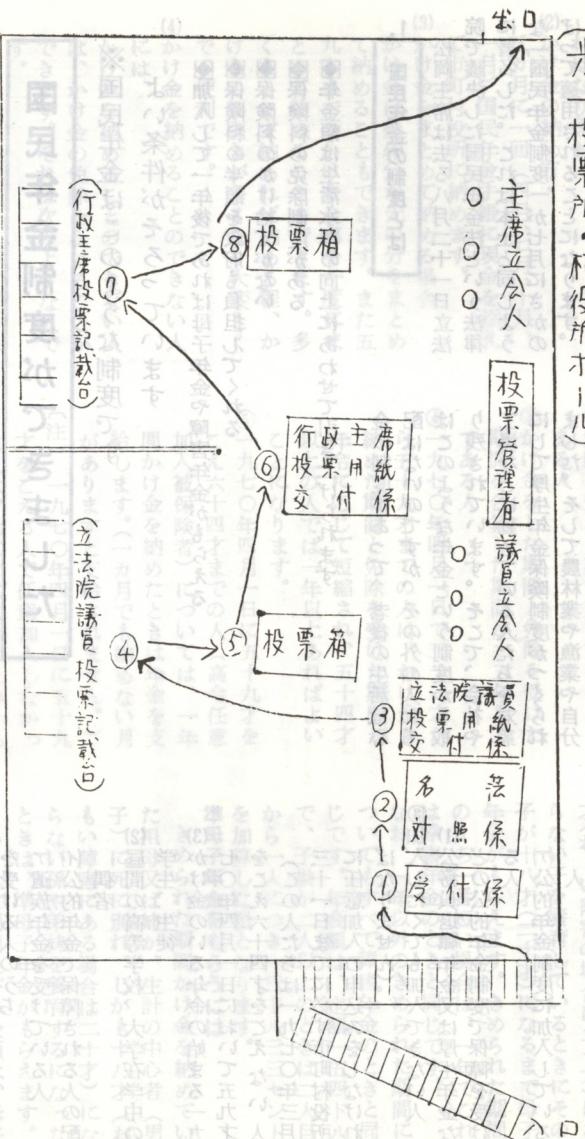
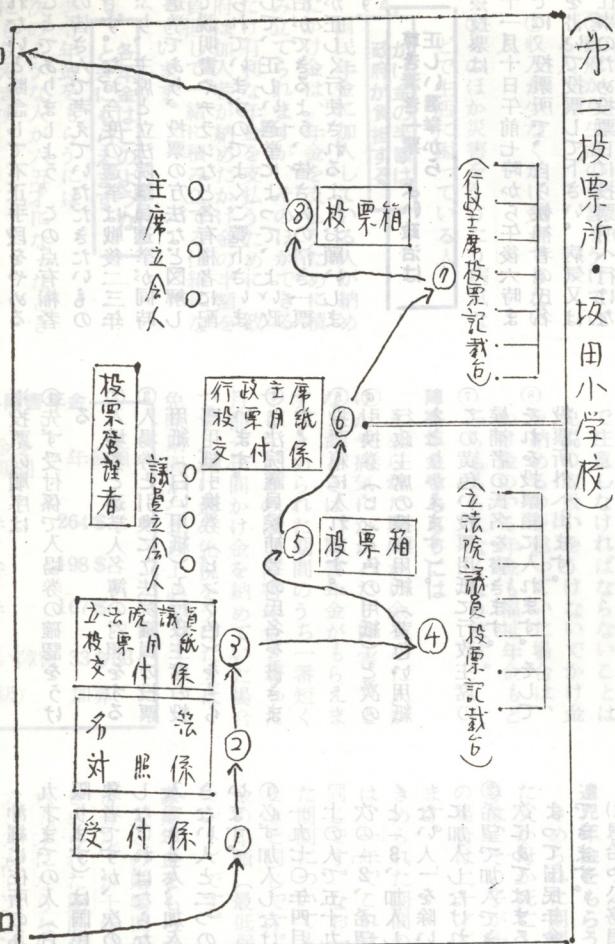
2. 投票は自由で清き一票を

本村の選挙は戦後二十三年ぶりに去る十月六日に村長選挙で体験した

ように、政治は選挙によって選ばれた住民代表によつて運営されるものであり、選挙と政治は大変密接つながりがある。そこで選挙が正しく行なわれているかどうかは民主政治を発展させるかどうかとの重要な要件である。そのため選挙民のみなさんの権利は尊いものであり同時にまた責任もたいへん重大なものです。

では正しい選挙を実現するためにはどうすればよいかとく、要するに

に有権者の皆さんのが選挙に対する正しい自覚と認識をもつて、正しい一票を投するほかはありません。選挙はあくまでも自分の良心の判断にしたがつて投票のできる自由なものでなくてはならないものです。金や情実で動かされる選挙であつてはならない。そこでかりに金や情実でさそいをかけてくるような候補者、運動員があるとしても、選挙民ひとり一人がそのようななさいには、いつさ



い心じないということになれば、候補者や選運動員は選挙民はもうだまさないことであり断念して不正手段をやめることであります。この点有権者の皆さんで考えていただきたいものであります。なお今度の選挙は戦後二、三年ぶり、主席と立法院議員選挙が同時に選挙であり、投票の方法など図解して説明書やチラシなど各有権者に配られていますのでよく覽下さいます。

して、正しい選挙によって、よい政治ができるよう、皆さんの清き一票が正しく行使されるようお願いします。

**算き清き一票、よい政治は
正しい選挙から**

※投票は十一月十日午前七時から午後六時までに、投票所で、自ら候補者の氏名を書いて投票して下さい。病気又は仕事のため投票日に投票所へ行けな

い人は十一月九日午後五時までに不在投票をして下さい。

※投票の順序は

①先ず受付係で入場券の確認をうけます。

②入場券と選挙人名簿の対照をする

③入場券と引換券と立法院議員の投票用紙（白い用紙）と行政主席の投票用紙引換券（ピンク色）をもらいます。

④立法院議員候補者の氏名を書きます。

⑤投票箱に入れます。

⑥引換券（ピンク色の用紙）と次の行政主席の投票用紙（黄色い用紙ととりかえます）。

⑦この黄色い投票用紙に行政主席の候補者の氏名を書きます。

⑧それを投票箱に入れます。そして投票所外へ出ます。

2. 国民年金に加入する人

沖縄に住所のある二十才から九才までの（日本国籍がある人に限ります）は国民年金に加入する対象者ですが、次のように、必ず加入しなければならない人と、希望で加入できる人、加入したくても加入できない人と二つのグループに分ります。

①必ず加入しなければならない人（一九七〇年四月一日で、二十才以上の人で五十九才を越えない人は次の一、希望で加入できる人と一、三、加入したくても加入できない人）を除いて、必ず国民年金に加入しなければなりません。

②希望で加入できる人（次にあてはまる人は本人の希望によつて国民年金に加入することができます）

（ア）恩給や公務員退職年金又は厚生年金などの公的年金制度で保障を受ける人のうち

（イ）遺族年金を受けている人（ア）公的年金で保障される人の配偶者

（1）恩給や公務員退職年金又は厚生年金などの公的年金制度で保障を受ける人のうち

（ア）公的年金で保障される人の配偶者

（2）学年間の高等学校、大学在学中の学生、生徒

（3）かけ金のいる年金の始まる一九七〇年四月一日において五十九才をこえ六十四才をこえない人（この人たちは一九七〇年三月三十日までに必ず市町村役所に任意加入の申込みをしなければなりません）

（4）加入しなくとも加入できない人（1）公務員退職年金又は厚生年金などの公的年金制度で保障を受け工場などに勤めている人たちを対象にして厚生年金保険制度がつくられたました。そして農林業や漁業や自分で商工業などを営んでいた人たちや五人以下の職場で働いている人たちなど厚生年金保険制度の対象とならない人たちのために国民年金制度が

（5）加入了ときや、身体障害者になつたとき、又は生活の中心であつた主人に死に別れたときなどに年金を支給する制度で、これで住民のみんなが年金をもらうことの制度です。

（6）老令年金、退職年金または障害年金をもらっている人（ア）老令年金、または退職年金もらうことのできる人（イ）老令年金、退職年金または障害年金をもらつたときや、身体障害者になつたとき、又は生活の中心であつた主人に死に別れたときなどに年金を支給する制度で、これで住民のみんなが年金をもらうことの制度です。

1. 国民年金の制度とは

- ◆加入して一年後であれば母子年金や障害年金がもらえる
- ◆保険料の半額を政府も負担してくれる
- ◆保険料のかけ捨てがない
- ◆保険料の免除制度がある
- ◆年金額は生活水準の向上にあわせて引き上げられます

国民年金制度ができました

※国民年金はこのような制度です

よい条件がそろっています

- ◆加入して一年後であれば母子年金や障害年金がもらえる
- ◆保険料の半額を政府も負担してくれる
- ◆保険料のかけ捨てがない
- ◆保険料の免除制度がある
- ◆年金額は生活水準の向上にあわせて引き上げられます

松岡主席は去る八月二十一日立法院で議決した国民年金法という法律に署名した。これは本土と同じような「国民年金制度」が七月にさかのばって適用されることになります。

なぜ国民年金制度ができたかと申し上げますと、私たちは誰しも一生を楽しく幸せに過したいと心から願っておりますが、年をとつたり、けがや病気で十分働けなくなったり、一家の働き手である主人に死に別れたりして不幸になることが多く、世の中はなかなか思うようにならないものです。このような不幸をなくし「明るい幸わせな暮し」を築くために生まれたのが国民年金制度です。すでに公務員や学校の先生方は、年

出をした人に対する国民年金手帳が交付されます。

3. かけ金を納めなければなりません

※かけ金は月五五セントと六九セントの二種類

(1) かけ金の額

国民年金に加入した人は、一九七〇年四月から三四才までは一ヶ月五五セント、三五才からは一ヶ月に六九セントのかけ金を納めなければなりません。

(2) かけ金の納め方

三ヶ月に一回（四月、七月、十月、一月）国民年金手帳に現金を添えて市町村役所に納めます。

(3) かけ金をまとめて納める場合

かけ金は幾年分か先の分をまとめ納めることもできます。また五九才までのかけ金全部を一度にまとめて納めることもできます。多くまとめて納めれば納める程、かけ金の割引きが多くなり大変とくで、便利です。

(4) かけ金を納めることのできない人には、

かけ金を納めることのできない人は、かけ金の免除をうけることができます。それは次のような人です。

①障害(福祉)年金や、母子福祉年金をもらっている人

②政府から生活の保護をうけている人

③収入が少なくかけ金ができない人

④そのほか災害をうけたり病気などで生活に困っている人

4. かけ金の半額は 政府が負担する

国民年金に加入している人が納めたかけ金は、一年金を支払うために積み立てられます。そのため年に立たれていた人が、そのほかできるだけ有利な年金を支払うために、政府は加入者が納めたかけ金の半額を負担して一緒に積み立てる仕組になっています。

(希望により六〇才以降に減額年金をもらう方法もあります。)

5. 各年金はこのようになります

老令年金をもらうには

障害年金 かけ金をした 年金額	年金額
40年	264\$
30年	198\$
1年	167\$
おもい障害 (1級)	33\$ 33¢
加算	

免除期間が三年以上必要です。

障害年金をもらうには

きめられた期間かけ金をした人が受けがや病気にかかると障害者となつたときは、障害年金がもらえます。きめられた期間のうち一番短くもらえるのは、障害年金となつたとき前一年間かけ金を納めていた場合です。（かけ金の免税をうけた人は、免除期間が三年以上必要です。）

寡婦年金をもらうには

夫との婚姻関係（内縁関係を含みません）が十年以上続いていた妻がきめられた期間かけ金を納めていたときと同じです。年金額は、老令年金の半額（最低保障額八三ドル五十分）です。

老令年金 年令	かけ金をした期間	年金額
20才	40年	264\$
30才	30年	198\$
40才	20年	151\$ 80¢
50才	10年	85\$ 80¢
59才以上	1年	70才になるまで 26\$ 49¢ は
64才未満	1年	70才から 54\$

きめられた期間には、その外に、
①最近の三ヵ年間かけ金を納めている場合
②かけ金を五年以上納め、滞納期間の一以下である場合
③かけ金を十五年以上納めている場合などあります。

母子年金をもらうには

きめられた期間かけ金を納めていた人が、夫に死に別れ、しかも十八才（おもい障害の場合は二十才）にならない子を養育しているときにその子が十八才（二十才）になるまで母子年金がもらえます。きめられた期間に納めた期間と免除を受けた期間が五五年以上である人

①かけ金二五年以上納めた人
②免除を受けた期間が二十五年以上である人

③かけ金をした期間と免除を受けた期間を合算した期間が二五年以上である人

④一九七〇年四月一日で三十一才から五十九才までの人は、かけ金を納めた期間と免除を受けた期間が年令に応じて短縮され、五十四才以上の人では一年以上あればよいことになります。

⑤一九七〇年四月一日に五十九才をこえ六十四才までの人（高令任意加入被保険者）については、一年間かけ金を納めたときは年金を支給します。（一ヶ月でも納めない月がありますと支給されません。）

〔注〕一九七〇年四月一日に五十九才をこえる人で任意加入しなかつた人は、七〇才になつたときから老令年金がもらえます。ここ

で注意しなければならないことは、免税の取扱いをうけないでかけ金を納めるのを怠っていた場合は、免除の取扱いをうけないでかけ金を納めたときは、障害年金もどちらももらえなくなります。

きめられた期間かけ金をした人が受けがや病気にかかると障害者となつたときは、障害年金がもらえます。きめられた期間のうち一番短くもらえるのは、障害年金となつたとき前一年間かけ金を納めていた場合です。（かけ金の免税をうけた人は、免除期間が三年以上必要です。）

遺児年金をもらうには

きめられた期間のうち一番短い場合は、一年でこれは障害年金のときと同じです。なお一年以外のきめられた期間についてもすべて障害年金のときと同じです。年金額は、老令年金の半額（最低保障額八三ドル五十分）です。

きめられた期間のうち一番短い場合は、一年でこれは障害年金のときと同じです。年金額は、老令年金の半額（最低保障額八三ドル五十分）です。きめられた期間かけ金を納めていた妻がきめられた期間かけ金を納めていた夫と死別した場合六五才にならない夫と死別した場合六〇才から六五才までの間寡婦年金がもらえます。きめられた期間は、

